

# 中国語学科夏期海外研修(インターンシップを含む)

プログラム区分	語学研修	
主幹部署・問合せ先	中国語学科	
研修先国・都市名	中国・北京市	
研修先	北京外国語大学	
プログラム概要	<p>2026年度の夏期海外研修は、例年と同様に現地派遣の形式で実施する予定です。プログラムは、北京外国語大学での語学研修と、現地日系企業での企業研修からなる二部構成です。研修期間は計3週間で、平日の午前中には語学授業(全14回)を受講し、午後には企業研修(全2回)や世界遺産の見学(全3回)を組み込んでいます。語学学習と実務体験、さらに文化理解をバランスよく深められる内容となっています。</p> <p>語学研修では、4名の現地教員が文法と会話の授業をバランスよく組み合わせ、効果的なカリキュラムを編成しています。学習効果を高めるために学生通訳を配置し、授業はすべて中国語で行われます。具体的には、本学指定のテキストを基盤としつつ、伝言ゲームや中国語の歌、リズムに合わせて単語を覚えるレクリエーションなど、多彩な学習方法を取り入れています。こうした工夫により、参加学生は楽しみながら自然と語学力を伸ばすことができます。</p> <p>企業研修では、北京にある日系企業を訪問します。まず、企業担当者から中国でのビジネス展開について説明を受け、その後、案内に沿って店舗や工場を見学します。さらに、学生同士でグループ討論を行い、感想や疑問点を整理したうえで担当者に質問することで、日系企業のビジネスについて理解を深めます。</p> <p>また、中国の文化や歴史を体験的に学ぶため、頤和園・万里の長城・故宮博物館といった北京の世界遺産を見学します。さらに、伝統料理の北京ダックを味わい、京劇の鑑賞も行う予定です。</p>	
日程	2026年8月上旬～2026年8月下旬 (約3週間)	
単位認定	海外研修ⅠA(2単位)、海外研修ⅠB(2単位)	
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科:全学科	
内容	語学研修:有	語学研修以外の内容:有
引率者の有無	全日程	
住形態	大学寮	
参加費用 (概算・見込み)	参加費総額: 円/人 大学補助金: 最大円	
その他	<p>&lt;応募資格&gt;</p> <p>①研修・旅行に耐えうる健康状態を有している者。持病があっても、医師の許可があれば、参加申込可。</p> <p>②専攻コース:2~4年次は成績基準点はなし。中国語の学習に意欲的に取り組んでいる者。1年次は中国語検定4級以上合格の者。</p> <p>③副専攻コース:副専攻語学として中国語を履修し、6単位以上取得している者。(見込み可)</p> <p>&lt;募集説明会&gt;</p> <p>2026年4月21日(火)12:30~(予定)</p>	



# 体験記

## 中国語学科夏期海外研修(インターンシップを含む)に参加して

氏名：高木 奏人 (2024 年度参加)

2024 年度北京研修に参加し、中国語力だけでなく、日本を客観的に見ることができた。研修期間中、平日の午前中は授業を受け、授業の中で発言する機会が非常に多く、作文や自ら考えた会話をすることによって中国語力を向上させることができた。また、研修の中で現地の人と会話することに重点を置き、積極的に自ら話しかけることで現地ならではのなまりやその人の人柄を知ることができ、積極的に話すことの重要性を知った。自分自身中国に行くことが初めてで、中国語をはじめて一年半ということもあったが、全く不安なく、むしろ初めて体験する文化や全く日本語が聞こえず自分の勉強している言語のみ聞こえる環境がとても新鮮に感じた。生活面では日本と違いキャッシュレス化はるかに進み、デリバリー（外卖）文化の発展、接客における文化の違いを肌で感じた。個人的な話ではあるがデリバリーで日本では約 600 円するタピオカミルクティーが日本円約 120 円で買えたことにとっても衝撃を受けた。小さい日常的なことからも文化の違いや中国の経済的な発展を知ることができる。

土日は完全休日になっていたため、自分たちで北京市内に買い物や観光に行くことができる。自分たちの想像する、赤色で灯籠が飾られ、光がすごい中国という印象は全くなく、名古屋や大阪のような都市という印象を受けたが、やはりどこを見ても高層ビルになっており、世界的な都市の息遣いを感じた。

研修に参加し、日本を客観視することで、日本の長所や足りない部分を学ぶことができ、とても有意義であった。

